

登戸 2 号線沿道

まちづくりコンセプト ブック

多彩な人々を引き寄せ、人々が楽しみ、
憩う通り

～2つの駅をつなぎ人々が回遊する
“通り”づくり～

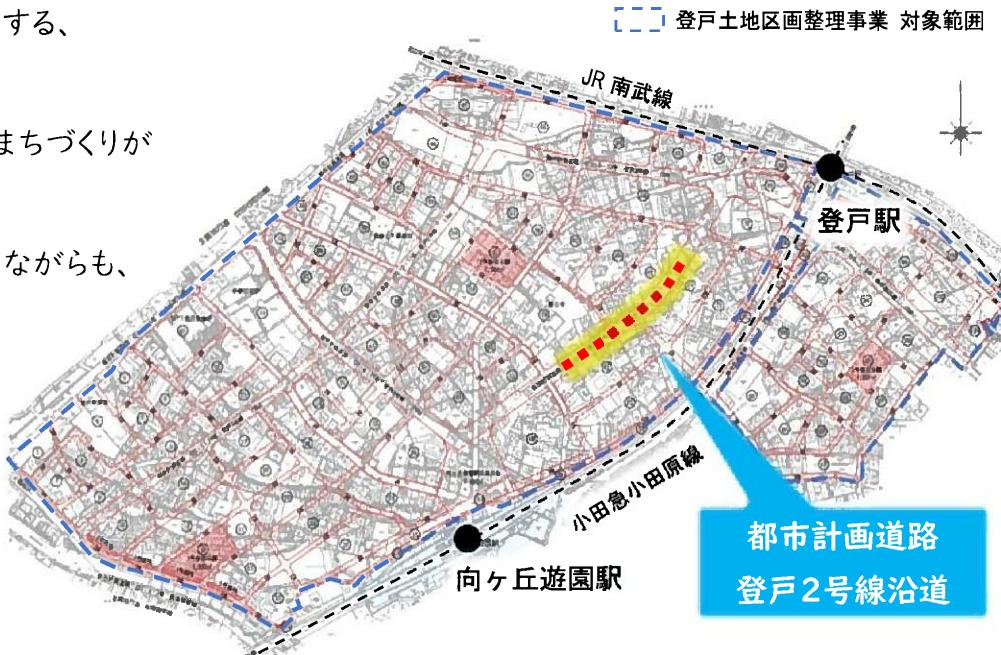


0 「私たち」について

私たちは、登戸駅と向ヶ丘遊園駅の間に位置する、
登戸 2 号線沿道の土地の権利者です。

現在、登戸では「土地区画整理事業」によるまちづくりが
川崎市により進められています。

登戸 2 号線沿道のまちを、安全性を土台としながらも、
「心地よく、魅力的なまちにしたい」と考え、
川崎市と共にまちづくりの勉強を行いながら、
このコンセプトブックを作成しました。



もくじ

1 育もう！「なかま」とともに 2	5 登戸 2 号線の将来像 5
2 登戸の「むかし」と「いま」 3	6 めざしたい通りのイメージ 6
3 登戸の「これから」 4	7 将来像の実現に向けて 12
4 想いを具体的に 4	

1 育もう！「なかま」とともに

心地よく、魅力的なまちにしたい。

現在、登戸では「土地区画整理事業」によるまちづくりが、川崎市により進められています。

私たちは、登戸のまちを『心地よく、魅力的なまちにしたい!』という想いを抱き、登戸の核となる登戸2号線沿道のまちを川崎市と共につくり、育てていくことにしました。

そのためには「なかま（商業者、居住者、来街者）」の存在が必要不可欠です。「なかま」を集めるために、私たちがめざしたい「通り」（登戸2号線沿道のまち）の将来像を示した「コンセプトブック」を作りました。



このコンセプトブックを手に取った皆さん！
私たちと一緒にこのまちを育てていきませんか？



まちづくりのきっかけ

川崎市により、土地区画整理事業によるまちづくりを始めました。



まちづくりは続く

私たち地権者と、商業者、居住者、来街者といった「なかま」が、まちづくりを一緒に進めています。



心地よく、魅力的なまちの実現へ

「なかま」を集めています。



コンセプトブックをもとに、まちづくりの「なかま」を集めています。

2 登戸の「むかし」と「いま」

むかしは産業や暮らしのまち。

「登戸」はかつて、宿場町や産業・暮らしのまちとして栄えました。

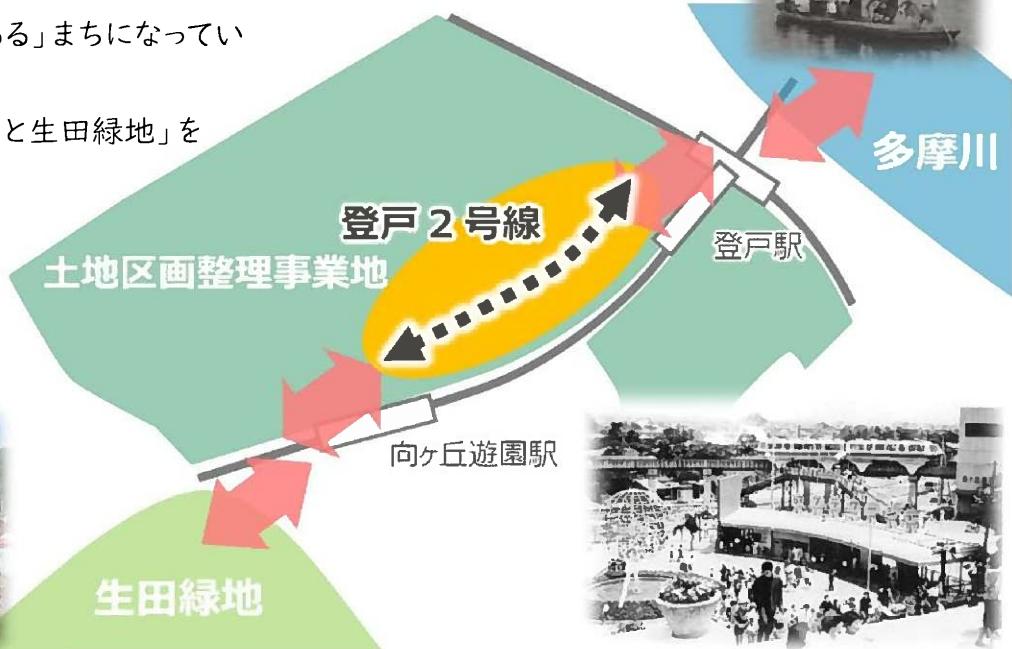
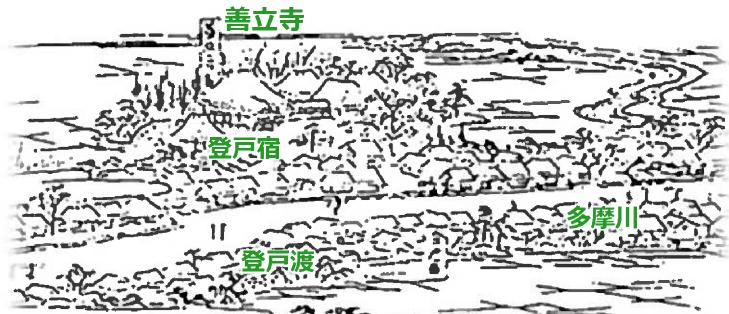
昭和2年には小田急線が開通し、「登戸駅」や「向ヶ丘遊園駅」が開設されました。

「向ヶ丘遊園」という遊園地もあり、週末は来園者で賑わっていました。

いまは便利で水と緑があふれるまち。

現在は、「交通の便が良い」「自然が身近にある」まちになっています。

登戸2号線は、「登戸と向ヶ丘遊園」「多摩川と生田緑地」をつなぐ、登戸を象徴する位置にあります。



3 登戸の「これから」

まちづくりが進んでいます。

そんな登戸ですが、まちづくりのきっかけとなる土地区画整理事業が進められています。

心地よく、魅力的なまちにしたい。

私たちは、登戸のまちを『心地よく、魅力的なまちにしたい!』という想いから、登戸 2 号線を、「人々が楽しみ憩う通り」として目指すことにしました。

「人々が楽しみ憩う通り」のイメージ



4 想いを具体的に

私たちは話し合いを重ねました。

「人々が楽しみ憩う通り」を具体的にしていくために、私たちは話し合いを重ねました。

時には、作っている途中の道路上にベンチやテーブル等を設置して、憩いの場を設けるなど、「将来どのような通りの使い方ができるか?」といった話し合いも行いました。

～私たちのまちづくりへの想い～

多くの人が歩くような通りになるといいな。

人々のコミュニケーションを増やしたいな。



住民が安心して安全に、心身共に健康で暮らせるようにしたい!



憩える空間があれば、人が集まりやすくなり良いと思う。

特色がある通りにしていきたい!

5 登戸2号線の将来像

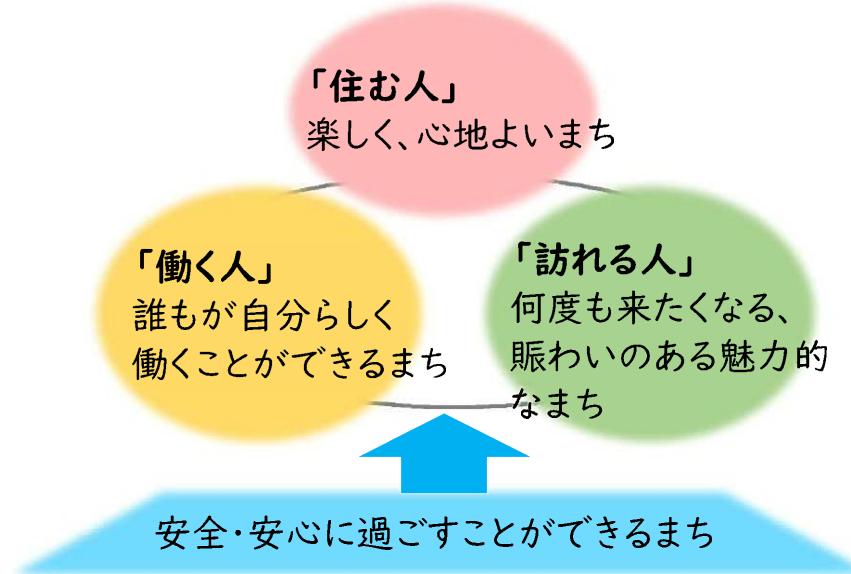
「想い」を具体的な「言葉」にしました。

話し合いを重ねた結果、登戸2号線を「こんな通りにしたい!」「こんな姿にしたい!」という「想い」を「言葉」にしました。

将来像

多彩な人々を引き寄せ、人々が楽しみ、憩う通り

～2つの駅をつなぎ人々が回遊する“通り”づくり～



地域に関わる「みんな」が主体となって、このまちを育てていきます！

6 めざしたい通りのイメージ

“イツモ”と“ハレ”

私たちは、将来像を踏まえて、“イツモ”的日（通常時）と“ハレ”的日（特別な日）の通りのイメージを描きました。

“イツモ”的日のイメージ

住んでいる人にとって、楽しく、
安全で心地良いまち！

【その③】

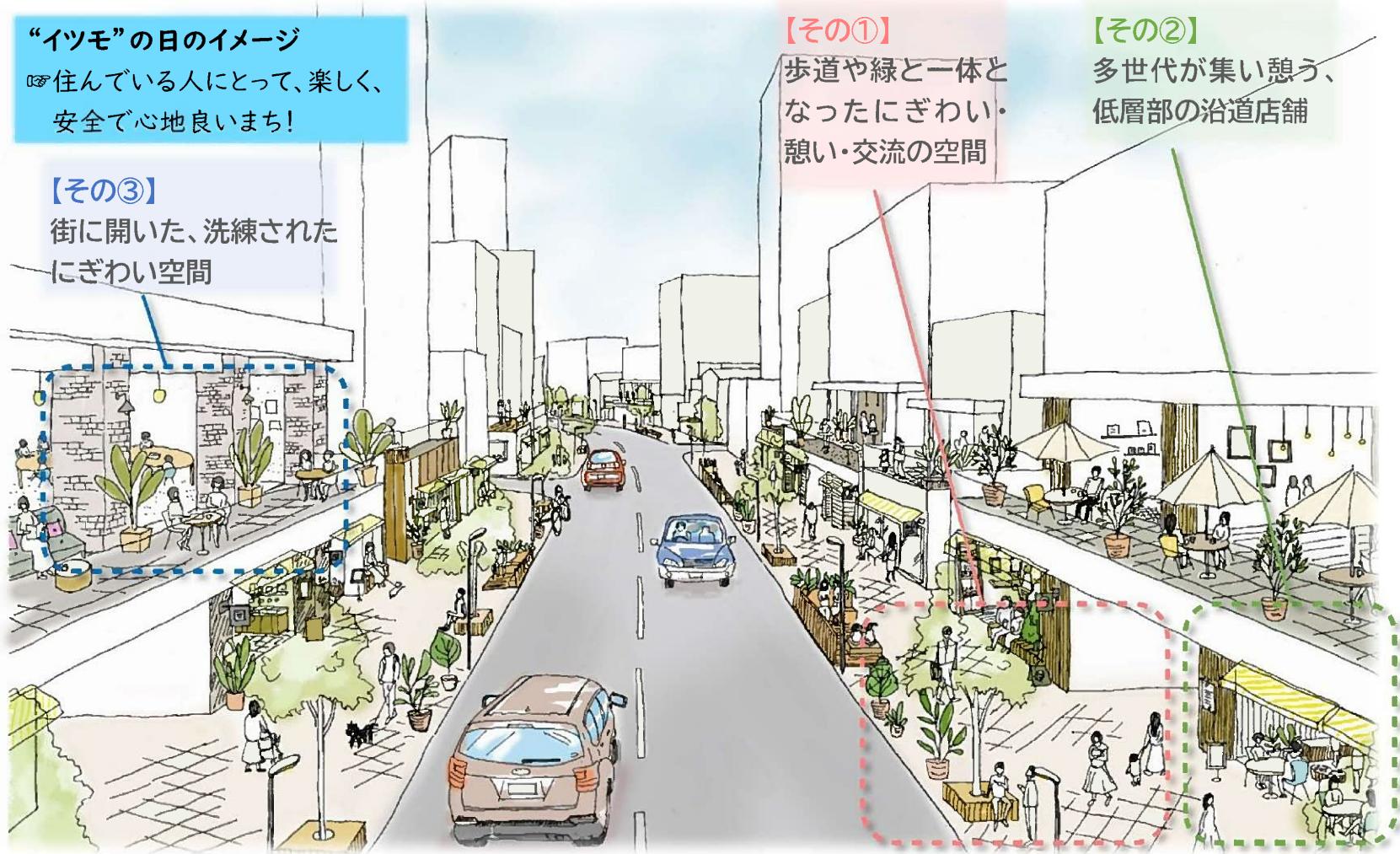
街に開いた、洗練された
にぎわい空間

【その①】

歩道や緑と一緒に
なったにぎわい・
憩い・交流の空間

【その②】

多世代が集い憩う、
低層部の沿道店舗



“ハレ”日のイメージ

誰もが訪れたくなる、賑わいのある魅力的なまち！

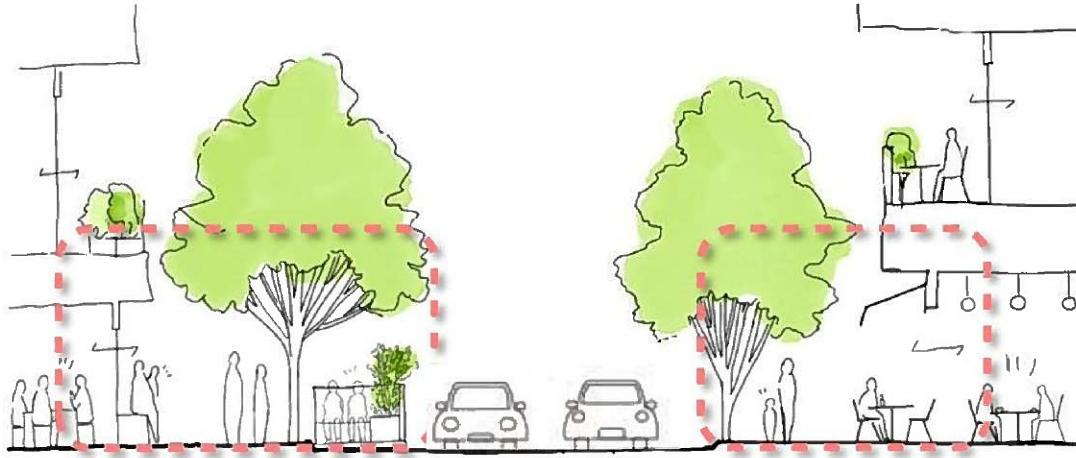
【その④】

広場としても活用できる道



めざしたい通りのイメージ

【その①】歩道や緑と一体となったにぎわい・憩い・交流の空間 イツモの日



道路と建物を一体的に活用する環境の創出

- 幅広い車道・歩道とし、誰もが安全・安心に歩くことができる空間を創出。
- 建物正面部分を、通りに対して開放的にし、活気ある歩行空間を創出。
- 道路にはベンチなどを設置し、憩いや交流の場として活用することを検討。
- 多摩川と生田緑地、2つの自然を結ぶ、緑のつながりをつくる。

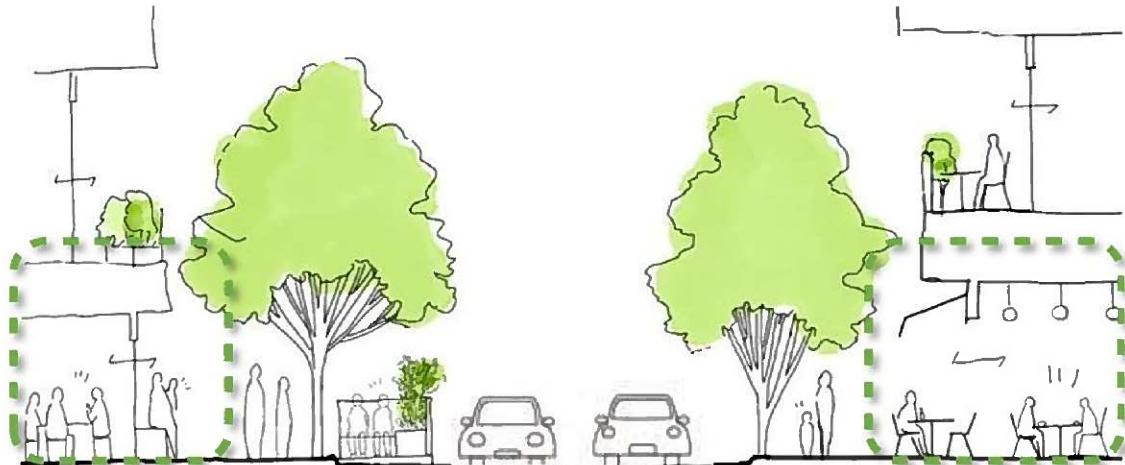
※憩いや交流の場、緑のつながりはみんなで育むことを想定。



めざしたい通りのイメージ

イツモの日

【その②】多世代が集い憩う、低層部の沿道店舗



まちの滞在を楽しむ場 「ゆるく働く」場面も想定

- 単身者・DINKs、学生や若者世代、子育てファミリー、シニアなど多世代が滞在を楽しめるようなテナントを誘致する。
- 店内の道路側には、地域の方々が集う交流の場やオープンテラスを設置、まちの賑わいや店舗と地域とのつながりを生み出す。
- 南武線沿線を中心に多数の企業(科学・工業技術系など)・研究所が立地、これら施設で働く人たちが「交流」や「ゆったりとした時間」からアイデアを生み出すための場をつくる。



めざしたい通りのイメージ

【その③】街に開いた、洗練されたにぎわい空間

イツモの日



できる限り2階部分などにも開放的な空間を設置

- 建物の上層部や屋上空間もできるだけ開放的な空間に。
- 階層的にも視覚的にも、賑わいのあるイメージを通りに印象付ける。



ハレの日

【その④】広場としても活用できる道



気軽におしゃべりができる“ハレ”の日の歩行者天国

- イベント時は車の通行を制限し、歩行者天国として開放。
- テーブルや屋台・テントなどを設置し、気軽におしゃべりができる空間に。

小さな幸せが発見できる“ハレ”の日のまちの学校

- 地域の方々の”知恵や特技”を分け合い、ともに成長できる学びの場を提供。
- 地域の色々なスポットをめぐるツアーなど、まちにかかわるイベントを開催し、「こんなまちになったらいいな」を探っていく。
- 様々な人たちとの触れ合いから、小さな幸せを発見できる空間に。



7 将来像の実現に向けて

「今できること」を進めていきます。

- 私たちは、将来像の実現に向けて、「今できること」を進めてきました。
- 現在、工事が進んできましたが、今後も地域のみんなで「今できること」を話し合い、進めていきたいと思います。



令和 3 年 4 月

登戸 2 号線沿道まちづくり勉強会
事務局連絡先：川崎市まちづくり局

登戸区画整理事務所

Tel:044-933-8511

Fax:044-934-3881

E-mail:50nobori@city.kawasaki.jp

令和3年4月
登戸2号線沿道まちづくり勉強会

